

## 令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在 広島県)

### 【調査結果の概要】

#### 1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（子実用）は2万2,600haで、前年産に比べ100ha（0.4%）減少しました。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は2万2,000haで、前年産に比べ200ha（1%）減少しました。

#### 2 作柄概況

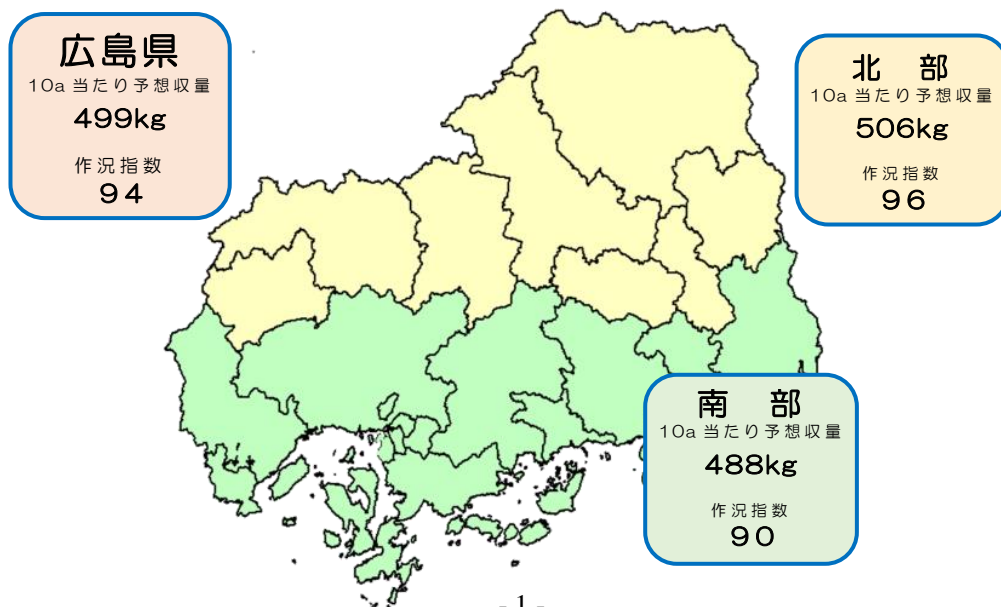
穂数は、田植期以降高温・多照で推移していたものの、7月以降の低温・日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、「やや少ない」となりました。1穂当たりもみ数は、幼穂形成期に当たる7月の日照時間が少なかったものの、8月以降高温・多照に経過したことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「平年並み」となりました。

登熟は、トビイロウンカの被害発生や、梅雨明け以降、9月上旬までの高温により登熟が抑制されたことから「不良」と見込まれます。

以上のことから、広島県の10a当たり予想収穫量は499kgとなり、前年産並みが見込まれます。作柄表示地帯別では、南部が488kg（前年産に比べ9kg減少）、北部が506kg（同5kg増加）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（広島県1.85mm）の作況指数は94（不良）と見込まれます。作柄表示地帯別では、南部が90（不良）、北部が96（やや不良）と見込まれます。

図1 作柄表示地帯別10a当たり予想収穫量及び作況指数（10月15日現在）



### 3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は11万2,800tとなり、前年産に比べ500t（0.4%）の減少が見込まれます。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた主食用の予想収穫量は10万9,800tとなり、前年産に比べ1,000t（1%）の減少が見込まれます。

表1 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

単位：%

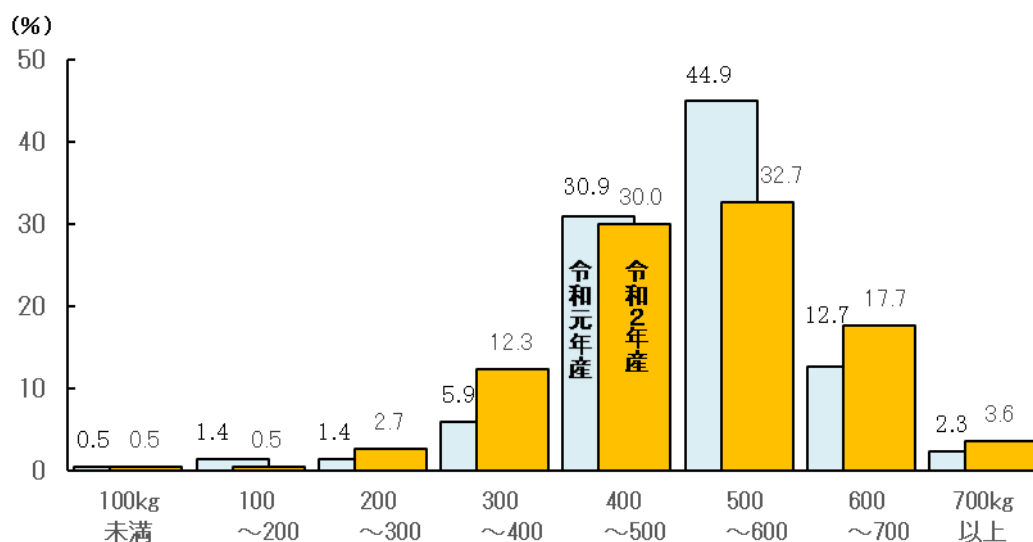
県・作柄 表示地帯	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
広島	重量割合	100.0	0.9	1.9	2.1	3.0	14.8	77.3
	平均値	100.0	0.6	1.3	1.6	2.0	12.2	82.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.6	0.5	1.0	2.6	△ 5.0
南部	重量割合	100.0	1.4	2.9	3.1	4.5	19.5	68.6
	平均値	100.0	0.9	1.7	2.1	2.8	16.3	76.2
	対平均差(ポイント)	0.0	0.5	1.2	1.0	1.7	3.2	△ 7.6
北部	重量割合	100.0	0.6	1.2	1.4	2.1	11.8	82.9
	平均値	100.0	0.5	0.9	1.2	1.4	9.3	86.7
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.2	0.7	2.5	△ 3.8

表2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位：%

区分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700kg 以上
筆数割合	100.0	0.5	0.5	2.7	12.3	30.0	32.7	17.7	3.6
前年値	100.0	0.5	1.4	1.4	5.9	30.9	44.9	12.7	2.3
対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.9	1.3	6.4	△ 0.9	△ 12.2	5.0	1.3

図2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

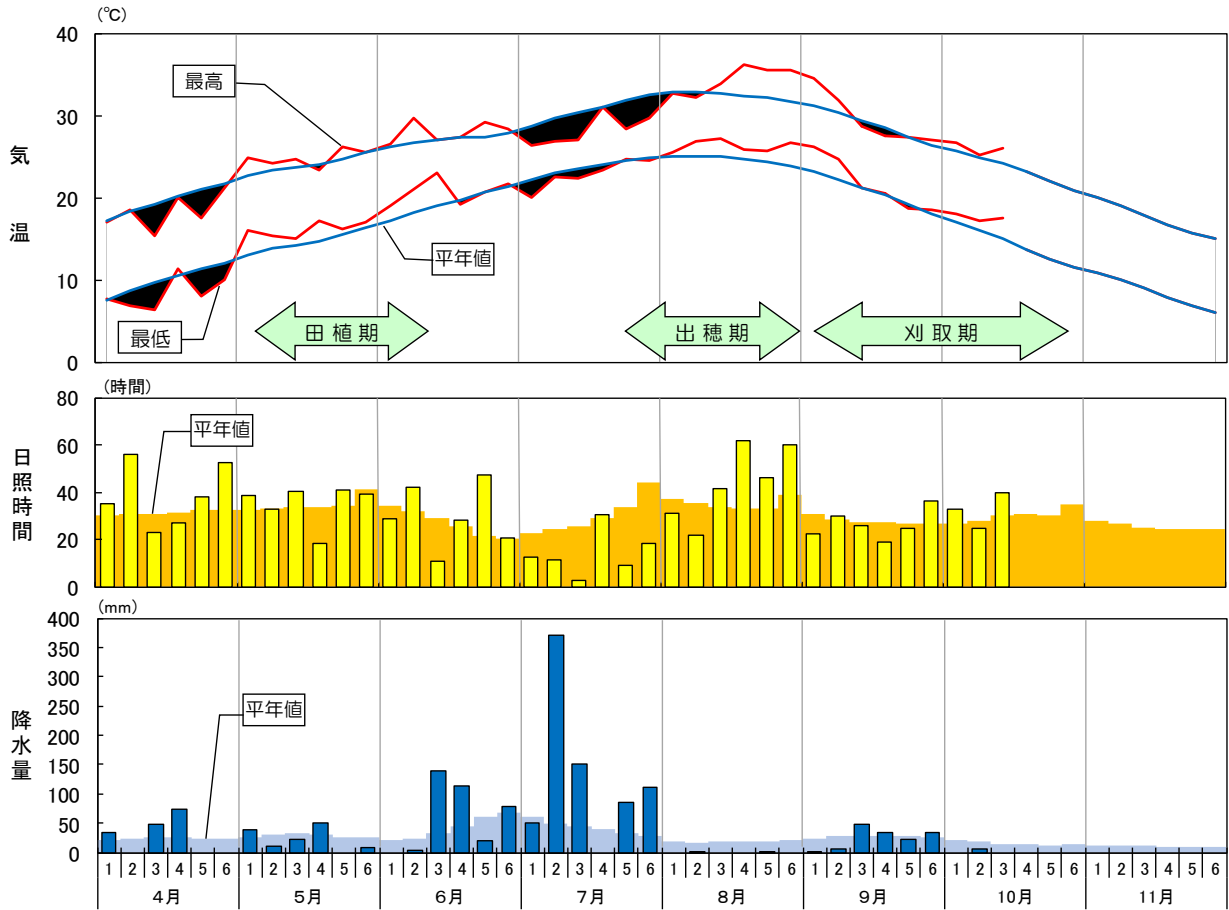


◎ 累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
広島県 平成22年産	26,400	511	134,900	98	26,000	132,900
23	26,000	523	136,000	100	25,500	133,400
24	26,000	539	140,100	103	25,500	137,400
25	26,000	520	135,200	99	25,500	132,600
26	25,600	497	127,200	95	24,800	123,300
27	24,700	507	125,200	96	24,000	121,700
28	24,100	531	128,000	102	23,400	124,300
29	23,700	534	126,600	102	23,100	123,400
30	23,400	525	122,900	101	22,900	120,200
令和元年産	22,700	499	113,300	95	22,200	110,800
2(見込み)	22,600	499	112,800	94	22,000	109,800
南 部 22	11,200	504	56,400	96	...	...
23	11,000	526	57,900	100	...	...
24	10,900	538	58,600	102	...	...
25	10,900	516	56,200	98	...	...
26	10,700	511	54,700	97	...	...
27	10,300	508	52,300	96	...	...
28	9,920	534	53,000	102	...	...
29	9,660	536	51,800	102	...	...
30	9,480	529	50,100	101	...	...
令和元年産	9,050	497	45,000	94	...	...
2(見込み)	8,830	488	43,100	90	...	...
北 部 平成22年産	15,200	516	78,400	99	...	...
23	15,000	520	78,000	100	...	...
24	15,000	540	81,000	103	...	...
25	15,100	523	79,000	100	...	...
26	14,900	487	72,600	93	...	...
27	14,500	507	73,500	97	...	...
28	14,200	530	75,300	102	...	...
29	14,100	532	75,000	102	...	...
30	13,900	523	72,700	101	...	...
令和元年産	13,700	501	68,600	95	...	...
2(見込み)	13,700	506	69,300	96	...	...

◎ 半旬別気象図

広島市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在 中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 広島県拠点 統計チーム 担当：黄金、<sup>ふくがうち</sup>福垣内

電話：082-228-5847 FAX：082-228-5834